

<報道関係者各位>

2026 年 1 月 5 日

年頭所感

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025 年を振り返りますと、米国関税の影響をはじめとする国際情勢の急変により、私たちのビジネスを取り巻く前提条件が大きく揺れ動いた一年でした。業績においてもその影響を免れ得ず、まさにグローバルな体制そのものを根本から見直し、再構築すべき時期に直面しています。

しかし、こうした逆境の中にあっても、未来への種まきを着実に進めてまいりました。特に昨年から始めたロボティックスの取り組みは、少しずつ成果が見え始めてきました。全社横断の基礎教育プログラムによるエンジニアの育成、そして 11 の学校と 5 社のパートナー企業が結集した

『ROX 2025』の開催は、世代や属性を超えた新たな知の循環を生み出しました。さらに昨年 8 月、山口県美祢市にロボットとデータを軸とした新工場が稼働を開始できたことに、新規分野への挑戦の手ごたえを感じることができました。

さて、2026 年の市場に目を向ければ、世界的なインフレや消費の二極化が進む一方で、価値あるものへの購買意欲は衰えていません。本年は FIFA ワールドカップが北米 3 カ国で開催され、スポーツ界を軸に世界中が熱狂の渦に包まれます。市場は「買う理由」があるものに対しては、極めて強いポテンシャルを秘めています。

大きなチャンスをつかむためには、世界中で選ばれるブランドになることが重要です。そこで本年、モルテンは『Boost Up (ブーストアップ)』という指針を掲げます。弊社の中に眠っている無数のビジネスの種に対し、新たな経営資源を果敢に投入することで、潜在能力を最大限に引き出し、短期で目に見える成果へと繋げてまいります。逆境を糧に変え、既存の枠組みを超えた成長を目指す一年にする決意です。

モルテンはこれからも、技術と情熱を持って社会に貢献し続ける企業でありたいと考えております。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝とご発展を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

■ スポーツ用品事業

新たに制定したブランドステートメント“feel the emotion”の体現に向け、もっとバスケットボールの練習がしたいにもかかわらず場所が限られてしまう子どもたち、その頑張りを支えるご家族に着目し、室内でドリブルやシュートの練習が出来る『roombasketball』を2025年に発売しました。

この『roombasketball』を通して、ご家庭の目の届く環境で安心して練習できるだけでなく、これまでバスケットボールに触れる機会が少なかったご家族も一緒になって楽しむことで家の中での会話が弾み、家族の絆が深まったという声をいただくようになりました。

私たちは、スポーツに触れる機会を広げ、スポーツならではの多様な感情と体験を通して、競技の普及・継続のみならず、人々の人生を豊かにしていくことを目指しています。

2026年は、これまで取り組んできた競技用ボールの開発に加え、スポーツに関わるさまざまな人々の感情を溢れさせる、ボール以外の製品・サービスの開発にも注力し、スポーツがいつも人生のそばにある世界の実現に向け、事業活動を一層拡大していきます。

■ 自動車部品事業

米国関税の影響、グローバルサプライチェーンの再構築、車のハードからソフトへの価値転換など、構造的な変化が起ころうとする業界環境下で、自動車部品事業では2032年グランドデザインの実現に向け、組織能力蓄積の流れをつくることを事業方針としています。

昨年は35年ぶりの国内工場投資となる新工場を山口県美祢市に設立、8月に稼働開始しました。多軸ロボット、AGV、製造データ見える化ツールを導入、D-Factoryの推進役となり、九州地区のお客様に向けた拠点として、新たなお取引につなげる体制を整えました。

開発ではSVF Value Providerを目指し、音・振動・流れをキーワードとした価値提案に取り組みます。材料から部品、部品からサブシステム、サブシステムから車両へ、評価結果の物理量を相関させ車両目線での開発を進める考え方を取り入れました。

2026年も自動車部品事業が掲げるブランドステートメント“Fun and Functional”の探究と実践に、引き続きチャレンジしていきます。

■ 医療・福祉機器事業

昨年は、将来の成長に向けた経営基盤の徹底的な点検と刷新、ならびにブランドステートメント“From the Inside Out”の深化に注力いたしました。

組織や業務プロセスの見直しに加え、我々の強みとは何かという根源的な問いに向き合い、経営体質への転換を図りました。

その強固な土台の上で、社会課題に対し我々が真に貢献できる領域を再定義し、日本褥瘡学会学術集会においては開発中の新商品を参考出品するなど製品開発を推進しました。

また、障がいのある子供たちを招待する『ドリームデイ・アット・ザ・ズー』への参画などを通じ、社員一人ひとりが現場で顧客の喜びに触れ、真の顧客視点を養う活動にも取り組んでまいりました。本年は、整備された基盤と深めつつある顧客視点を原動力に、変化し続ける社会環境の中で「日常生活に課題を抱える人とそれをケアする人」の困りごとやご要望により一層真摯に向き合い、顧客視点をベースとした製品とサービスの提案を通じて、内から外へと広がる豊かな人生と健康で安心して暮らせる社会づくりへ貢献していきます。

■ マリン・産業用品事業

マリンレジャーの多様化やインバウンド需要の高まりにより、プレジャーボートの大型化・高級化が進行しています。一方で、大型艇を収容できる係留施設が不足しており、マリーナ施設の更新に合わせたプレミアム市場が新たに形成されています。この市場ニーズに応えるため、5月に新ブランド『DEARBLUE（ディアブルー）』を発表しました。『DEARBLUE』は、“船と海を守るオールインワンソリューションの提供”を目指し、「デザイン」「メンテナンス」「サステナビリティ」を提供価値とします。風景と調和するデザイン、長く愛されるためのメンテナンス、そして、つくるほどに海が美しくなるサステナビリティをコンセプトに開発され、進化するマリン市場の基盤整備に貢献していきます。

建設分野においては、2022年に東京都市大学および高松建設株式会社と共同開発した、建築免震構造用の高減衰積層ゴム支承について、本年2月に国土交通大臣認定を取得いたしました。これは、当社にとって初の大臣認定品となります。この大臣認定の取得により、当社の高減衰積層ゴム支承は免震建築の正式な部材として広く使用可能となり、免震建物のさらなる普及に貢献していきます。

これらの製品の提供を通じ、自然と共存できる社会基盤の構築に貢献することで、ブランドステートメントで掲げた“Elements of Foundation”をさらに実現していきます。

お問い合わせ先

株式会社モルテン 広報室

〒733-0036 広島市西区観音四丁目10-97-21

E-MAIL: molten_pr@molten.co.jp